

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
算数科教育法	講義	2	西川 恭一
記載不要			
【授業のテーマ及び到達目標】			
テーマ	「算数科教育における目標や内容の理解、及び指導法の追究」		
到達目標	① 算数科の目標や学習内容が理解できる。 ② よりよい授業(問題解決的な学習)について理解を深め、指導案の作成に生かす。 ③ 模擬授業の実践と協議を通して指導技術を身につける。		
【授業の概要】			
算数科の学習内容と授業についての理解を深め、指導案の作成と検討、模擬授業の実践と協議を通して指導技術の向上をめざす。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション、算数教育の歴史と算数科の目標			
事前学修課題: シラバスを精読し、授業の流れや方向性について確認しておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 算数教育の歴史と算数科の目標についてまとめ、理解を深める。【1 時間】			
2. 算数的活動と問題解決的な学習			
事前学修課題: 問題解決的な学習について調べ、予備知識を持っておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 算数的活動と問題解決的な学習の関係について整理し、理解を深める。【1 時間】			
3. 『小学校学習指導要領解説 算数編』の概説と学習内容の系統①「数と計算」「図形」			
事前学修課題: 『小学校学習指導要領解説 算数編』p33～41 を通覧し、内容を把握しておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 「数と計算」及び「図形」領域の内容と系統性についてまとめ、理解を深める。【1 時間】			
4. 『小学校学習指導要領解説 算数編』の概説と学習内容の系統②「測定」「変化と関係」「データの活用」			
事前学修課題: 『小学校学習指導要領解説 算数編』p56～71 を通覧し、内容を把握しておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 「測定」「変化と関係」「データの活用」の3領域についてまとめ、理解を深める。【1 時間】			
5. 授業の流れ①(課題設定の工夫、板書計画とノート指導)			
事前学修課題: 『小学算数 3年』上巻のp23～26 を通覧し、内容を把握しておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 『小学算数 3年』上巻のp23,24 の学習について、板書計画及びノート指導を考える。【1 時間】			
6. 授業の流れ②(教材化と教具の工夫)			
事前学修課題: 教材化と教具の違いについて調べ、予備知識を持っておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 自身の模擬授業の単元を決め、教材化と教具の工夫について考える。【1 時間】			
7. 授業の流れ③(自力解決、話し合い活動、振り返り活動)及び評価			
事前学修課題: 自力解決、話し合い活動、振り返り活動について調べ、予備知識を持っておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 模擬授業の本時を決め、学んだ事を生かし、具体的な授業の流れについて考える。【1 時間】			
8. 指導案作り①(単元構成、指導計画)			
事前学修課題: 教科を問わず、学習指導案における単元構成や指導計画について調べておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 学んだ事を生かし、模擬授業の「単元について」及び「指導計画」をまとめる。【2 時間】			
9. 指導案作り②(本時)			
事前学修課題: 模擬授業の本時について、自分なりの流れを考え、下書きをしておく。【0.5 時間】			
事後学修課題: 学んだ事を生かし、模擬授業の指導案(1次案)を仕上げる。【2 時間】			
10. 事前検討会(指導案の紹介と意見交換)			

<p>事前学修課題:自身の指導案をグループで発表できるよう準備しておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:グループから出された改善案をもとに指導案を再検討し、完成させる。【2 時間】</p>
<p>11. 授業準備(教具等の準備物作成と授業の流れの確認)</p> <p>事前学修課題:グループで発表する授業に必要な準備物の材料を集めておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:グループで発表する授業の準備物を完成させる。【1 時間】</p>
<p>12. 模擬授業①及び意見交換(グループ A, B)</p> <p>事前学修課題:模擬授業の単元及び本時について、『小学算数 3年』の教科書を通覧しておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:模擬授業について、事後の話し合いの内容を整理し、改善点についてまとめる。【1 時間】</p>
<p>13. 模擬授業②及び意見交換(グループ C, D, E)</p> <p>事前学修課題:模擬授業の単元及び本時について、『小学算数 3年』の教科書を通覧しておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:模擬授業について、事後の話し合いの内容を整理し、改善点についてまとめる。【1 時間】</p>
<p>14. 模擬授業③及び意見交換(グループ F, G, H)</p> <p>事前学修課題:模擬授業の単元及び本時について、『小学算数 3年』の教科書を通覧しておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題:模擬授業について、事後の話し合いの内容を整理し、改善点についてまとめる。【1 時間】</p>
<p>15. 試験(レポート)およびまとめ</p> <p>事前学修課題:レポートの課題を選択し、レポート作成のための資料を整理しておく。【3 時間】</p> <p>事後学修課題:本授業で学んだことをもとに、他教科の教科教育法の文献を読み、知識を広げる。【3 時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>授業中聞いたこと、考えたこと、思ったことは、できるだけ記録し授業メモとして残す。また、話し合い活動の場では進んで意見を交換する。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>授業後小レポート(40%) 指導案・模擬授業(30%) 期末レポート(30%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>授業後の小レポートは、次時に評価とコメントを記し返却するので参考にすること。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>『小学校学習指導要領解説 算数編』 文部科学省</p> <p>『小学算数 3年』上・下 教育出版</p>
<p>【参考文献】</p> <p>授業中、適宜紹介する。</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>小学校教諭時代の 35 年間にわたる算数研究の経験を活かし、「よりよい算数科授業」をめざした指導法について論じていく。</p>